

平成26年度第2回水道審議会会議録

日 時	平成27年月1日27日(火) 午後1時30分から3時45分
場 所	秦野市水道局庁舎2階会議室
出席委員 〔敬称略〕 ※◎会長、○副会長 ※正副会長以下 区分別に五十音順	◎松下 雅雄、○柳川 清紀、松原 沙織、宮田 義範、石川 道隆 今 昭夫、齊藤 政和、高橋 宣明、内藤 房薫、長澤 健 中山 知江 計11名
欠席委員 〔敬称略〕	荒川 裕美子、丹羽 恵理子、伊藤 章、古谷 茂男 計4名
委員以外 の出席者	水道局長 山口 誠一 水道施設課長 芳野 高志 水道業務課長 遠藤 秀男 水道施設課長補佐(建設担当) 原 恵一 水道業務課長補佐(庶務担当) 和田 安弘 水道施設課長補佐(給水維持担当) 小山田 智基 水道業務課長補佐(経理担当) 原 正人 水道施設課長補佐(浄水担当) 小宮 政美 水道業務課長補佐(料金担当) 田中 和也 計画担当技幹 西沢 光吉 水道業務課庶務班主査 三河 秋実 水道業務課庶務班主事 西澤 冠
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 平成27年度秦野市水道事業会計予算(案)について (2) 水道事業の現状と課題 (3) その他 4 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度第2回秦野市水道審議会次第 ・資料1 平成27年度主要施策説明書(案) ・資料2 平成27年度水道事業会計予算総括表(案) ・資料3-1 有収水量実績・推計表 (過去6年間の実績と27年度までの推計) ・資料3-2 給水収益実績・推計表 (過去6年間の実績と27年度までの有収水量推計) ・資料4 水道事業財政計画《平成23年度～32年度》 ・資料5 秦野市水道事業の現状と課題

事務局
課長補佐(庶務担当)

—ボトルドウォーター「おいしい秦野の水」について、
全国公募で決定した新ラベルの紹介—

ただいまから、平成26年度第2回秦野市水道審議会を開催します。

まず、会議の成立についてです。委員15名のうち11名の出席がありましたので、秦野市水道審議会規則第6条第2項の規定により、審議会が成立していることをご報告します。

次に資料の確認をします。

—資料確認—

開会に当たり、松下会長、あいさつをお願いします。

松下会長

—あいさつ—

事務局
課長補佐(庶務担当)

ありがとうございました。
それでは、会長に進行をお願いします。

松下会長

次第に従い「議題1 平成27年度秦野市水道事業会計予算(案)について」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

—水道業務課長が資料1～4により説明—

松下会長

事務局から「水使用量が減少し続けており、財政計画に見込んだ給水収益の確保は困難である」と説明がありました。27年度の収益的収支予算は、支出が収入を上回るという、料金改定前の22年度予算と同様の厳しい編成となったようです。

27年度は、安定経営の持続のため、28年度からの施設整備計画及び財政計画を見直すとともに、水道料金体系のあり方も検討をしていくことになります。

事務局からの説明について、質問や意見をお願いします。

高橋委員

有収水量は、今後も減ると見込まれているようですが、どこまで下がると見込んでいますか。

水道局長

平成22年からの5年間で、概ね、一定の量で下がっています。

今後、水使用量の多い企業の立地等がなければ、推計のとおりになっていくと思われま

す。この後、議題の2で触れますが、例えば、住宅の新築や建替えをする場合、節水機器の普及により、水の使用量がそれまでの3分の1も減ってしまうという検証結果があります。それに加え、1人1日当たりの平均水使用量が250リットル程度だとすると、人口減少等により、毎年1,000人減少するだけで年間約9万トン減ることになり、水使用量が改善するとは、なかなか考えにくい状況です。

しかし、現在、新東名高速道路の建設が始まっていますが、平成32年度にはサービスエリアが完成する予定です。

他のサービスエリアの状況を見ると、水使用量の増加が期待できるのではないかと思います。

高橋委員

平成23年度の料金改定では、当然に黒字を確保するようにしていたと思いますが、結果的に5年目で赤字ということ

です。28年度から5年間の算定期間では、もう少し長く安定した水道事業経営ができるよう、つまり、32年度まで黒字となるように改定しないと先が見えないと思います。

水道局長

前回の料金改定は、23年度から27年度までの5年間という算定期間で、毎年度の収益を見込みました。その次の28年度からの算定期間では、さらに平均16パーセント増の料金改定が必要であるという見通しでした。

5年目で赤字予算を編成せざるを得ない状況もありますので、今後の経営に当たっては、経費の削減、収入の確保などの企業努力を引き続きしていきます。

その上で、不足する部分を水道料金の引き上げによりご協力いただくことになると考えています。

松下会長

本市の水使用量は減っているということですが、県下の他の事業体では、どのような状況でしょうか。

水道局長

この状況は、県下の他の事業体でも同じです。また、全国的にも同様の傾向にあると認識しています。

宮田委員

秦野市に限らず、全国的に水使用量は減っている状況です。

例えば、ある都市では、給水人口が微増しているにもかかわらず、水使用量は減って、給水収益が上がらないというところもあ

	<p>ります。</p> <p>近年では、人々の意識や水の使い方も変わり、たとえ給水人口が増加していても、給水収益が上がらず、むしろ減少している状況で、全国の事業者が抱えている大きな問題となっています。</p>
水道局長	<p>水道事業は、機械装置産業です。施設の稼働や維持管理等の固定経費がかかりますので、それらを賄うだけの給水収益がないと、経営として非常に厳しい状況があります。</p>
内藤委員	<p>2点、質問があります。</p> <p>まず、生活者の立場からすると、水道料金は安いに越したことはありません。他市町村の水道料金と比較して、秦野市の料金はどのようなのでしょうか。</p> <p>また、職員1人当たりの給水収益は、どのようになっているのでしょうか。</p>
水道局長	<p>秦野市の水道料金は、県下の企業庁を含む市事業者の中で一番低いランクとなっています。全国的にも安いといえます。</p> <p>また、職員1人当たりの給水収益では、料金が安い割に収益が多く、逆にいうと少ない職員で運営していることになります。</p>
齊藤委員	<p>有収水量が減少しているのですから、施設を縮小することはできないのでしょうか。</p>
水道局長	<p>秦野市は、配水場が30か所、取水場が50か所など、県下でも多くの水道施設を持っています。これらの施設は、常時稼働しているため、更新時に、周辺施設を含めて見直し、統廃合などコンパクトにするよう進めています。</p>
松下会長	<p>他に意見、質問等がなければ、議題1の「平成27年度水道事業会計予算(案)」については、以上で終わりたいと思います。</p> <p>今後、この案が、市議会に提出されるということです。</p> <p>では、「議題2 水道事業の現状と課題」に移ります。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>—課長補佐(庶務担当)が資料5、パワーポイントにより説明—</p>
松下会長	<p>事務局からの説明について、意見、質問等をお願いします。</p>

高橋委員 料金体系について、負担の公平性に問題があるということですが、具体的にどのようなことですか。

水道局長 具体的には、逡増度の問題です。本市の水道料金は、使用量が多くなるほど段階的に上がる仕組みになっています。過去、地下水揚水量の増加が、地下水位の低下を招いたことを受け、それを抑制する目的で導入されました。

水道を使えば使うほど単価が段階的に高くなるように設定しており、大量に使う方に負担が偏っているのではないかと考えられています。

高橋委員 使えば使うほど高くなるということは、当然のように思いますが、累進課税方式のようになっているということですね。

水道局長 はい。現在、家事用の一番低いランク単価は、1立方メートル当たり70円ですが、最高ランクでは、200円超となり、約3倍の価格差があります。

石川委員 非常用自家発電設備ですが、本町ブロックの設置数が「0」となっていることに何か理由はあるのですか。

水道局長 本町ブロックの施設は、配水場が1施設、取水場が3施設ありますが、いずれも敷地が非常に狭く、設置できない状況です。

今後、別の場所への移転更新という予定もありますので、併せて非常用自家発電設備の設置を考えています。

高橋委員 水質管理の中央監視体制の整備についても、本町ブロックが少ない気がしますが、どうしてですか。

水道施設課長 現在、中央監視体制は、幹線ルートを中心に整備しています。

本町ブロックだけではなく、自己水を多く使っているところなど個々で配水ブロックを管理している状況から、事業は進めています。まだまとめて集中管理するに至っていません。

今年度から集中管理の体制づくりを準備していきます。

内藤委員 少し話がそれますが、私には、秦野の水は夏に冷たく冬に温かくおいしいという印象があります。最近の子どもは、水道水の利用目的等が変わってきているのか、水道水を蛇口から直接飲むという感覚があまりないように感じます。

将来的に若い世代が、水道水を飲み水として考えているのかどうか疑問です。秦野の水は、他市町村と比べて、また、昔と比べておいしいといえるのでしょうか。

水道局長

回答が難しい質問ですが、水道事業者としては、「おいしい」と自信を持っています。

「おいしい水」の判断は、非常に難しく、その時の気温、環境、体調、個人的嗜好などに左右されます。昭和60年に旧厚生省（現在の厚生労働省）が、全国の水道水の水質や水に含まれる成分などから「おいしい水」とはなにか、を研究して、その条件の一応の目安となる数値を発表しています。

秦野市の水道水は、旧厚生省が示した「おいしい水」研究会の条件からすると、おいしく感じられることにあてはまっています。

また、以前、審議会の中でも、県水、地下水100パーセント、河川水という3種類の秦野市の水道水について「効き水」をしていただきましたが、そのような「効き水」を何回か実施している中では、それぞれの水道水が、ほぼ同数でおいしく感じるという結果が出ました。

これは、感じ方や嗜好には、個人差があり、普段から飲みなれた水道水をおいしいと感じる傾向がある、ということのようです。

内藤委員

水質については、40年前と比べて変化はあるのでしょうか。

水道局長

例えば、東京都などでは、オゾン等による高度浄水処理が導入され、水の臭みなども除去できる技術が進んでいますので、以前に比べて、水質もよくなっているといえると思います。秦野市では、基本的には、地下水ですから変わっていないと思います。

松下会長

現在、秦野市の水道水の内訳は、県水が25パーセント、75パーセントは地下水ですか。

水道局長

秦野市全体の構成では、地下水70パーセントと河川水7パーセントで自己水77パーセント、そして県水が23パーセントです。県水のブレンド率は、地区によって異なり、東地区や北地区は自己水で、地下水100パーセントですが、幹線系では、県水を本市の東側から受け入れ、西側まで送水しています。東側では、県水のブレンド率は概ね50～70パーセント、南地区周辺で、30～40パーセント、西側で15パーセント弱です。

内藤委員 ペットボトルの年間売上高は、どのくらいですか。

水道局長 年間300万円くらいです。

中山委員 どこで製造しているのですか。

水道局長 埼玉県秩父市で製造しています。

中山委員 秦野市に製造工場を造るわけにはいかないのですか。

水道局長 現在の製造業者の製造ラインである1時間当たり1,000本程度の生産能力を整えるには、設備だけで約2億円、建物を合わせると約3億円の投資が必要であると聞いています。
また、飲料メーカーによると、今は井戸と製造ラインがセットでないとなかなか採算は取れないようです。

松下会長 秦野市の水道事業の現状と課題については、この説明で大体ご理解いただけたと思います。
どのような料金体系がよいのか、どのように取り組むのか、ということがこれからの議論となります。

松原委員 水道事業は、半民半官の側面があり、一方で利益を追求し、また一方では税金のように水道料金を徴収しなくてはならないということがよく分かりました。
適正な水道料金のあり方については、どのような側面を重視していくのかによって、料金体系も変わっていくのだと思います。
将来に渡って、世代間の公平性、100年後も変わらないようなシステムの構築が大切だと思います。
今後、利益の出ている他の事業体の方針や財務諸表等についても拝見したいと思います。

水道局長 水道事業は、公営企業の中でも他の事業に比べて赤字が少ないと思います。
水道料金を全国的に見ても、本市よりかなり高い事業体がほとんどです。これまでも本市は、水道料金を安く設定し、市民の皆様にお使いいただいていますので、今後も経営努力をしながら、可能な限り安全な水を安く提供できるようにしたいと思います。

宮田委員

秦野市の水道料金が安いことは、全国平均と比べても明らかです。経営が安定しているところは、スケールメリットで東京など大都市の事業者が多く、今の時代、中小規模の事業者では、給水収益が下がり、費用がかかる傾向が否めません。中小規模事業者同士が統合し、職員を減らすなど広域化の動きも見られ、規模が利益を生み出す傾向にあると思います。

松下会長

これまでの中で、大体の流れは把握できたと思います。
次回以降、さらに掘り下げた審議をしていくということで、これで終わりたいと思いますが、他に何かありますか。

—特になし—

松下会長

ないようですので、最後に事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。

事務局
課長補佐(庶務担当)

次回の審議会の日程ですが、3月23日月曜日午後1時30分からとなりますので、よろしく申し上げます。

—その他事務連絡—

松下会長

以上をもちまして、平成26年度第2回秦野市水道審議会を終了します。

〔午後3時45分終了〕